

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

平成28年6月20日

都道府県知事
(市長)

殿

株式会社佐藤牧場

提出者 代表取締役 佐藤 秀一
 住 吉分県宇佐市安心院町橋本1967
 TEL・FAX 0978-48-2077
 氏 名
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(株)佐藤牧場
事業場の所在地	宇佐市安心院町橋本1967
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	乳用育成牛～未産産牛478ト
③従業員数	4名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜のふん尿 → 自ら堆肥化 動物の死体 → 処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役(廃棄物総括責任者) 佐藤 秀一
農場長 (廃棄物実務担当者) 園田 麻美

※H27年度農場長退職

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿 延478t	牛の死体
	排出量	4667.8 t	10 t
	(これまでに実施した取組) .. ・牛のふん尿... 敷料交換までの肉に1度トウターにお攪拌で交換回数と減らす。 途中の段階で新しい枋クズを追加する、 ・牛の死体 -- 早期発見・早期治療		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿 延478t	牛の死体
	排出量	5029.1 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・年肉を通じた換気扇の可動 ・飼養管理の改善		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	3860 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4159 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	807.8 t	t
(これまでに実施した取組) 堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	870.1 t	t
(今後実施する予定の取組) 堆肥化(攪拌回数を増加可)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	牛の死体
	全処理委託量	0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	牛の死体は処理業者へ委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	牛のふん尿	牛の死体
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 畜医師と連絡を密にして死体を「セロ」にする		
※事務処理欄			